



学校だより

No.5

8・9月号

令和4年8月30日

横浜市立洋光台第四小学校

～ 手をとりあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～

ホームページもご覧ください。 www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

多様性を組み合わせて

校長 山口 高弘

令和4年度の2学期が今日から始まりました。学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な声
が戻ってきました。

この夏休み期間は、保護者の皆様や子どもたち、教職員についても大きな怪我や事故の報
告もなく、校長として安堵しております。無事に2学期のスタートを切ることができ、すべ
ての関係者の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

ただ、この夏休みの間に東北地方を中心に豪雨災害が発生し、多くの方々が被災しました。
人知の及ばない出来事が、私たちの日常に影響を及ぼしています。また、海外においても紛
争が続き暗い影が世界を覆っています。その上、新型コロナウイルスの感染状況においても
高止まりの状態であり、様々な情報や憶測が飛び交っており心配が尽きることはありません。

2学期以降も、家族をはじめ周囲に体調不良等の方がいる場合には、無理をさせずにお休
みいただくことや、これまでの感染予防対策の徹底を強めていく必要があります。学校にお
ける学びの継続を図れるように、保護者の皆様や地域の皆様には、引き続きご理解とご協
力のほどよろしく願いいたします。

さて、この夏に5年ぶりに日本女子ラグビー（サクラフィフティーン）の試合が日本国内
で行われました。自分たちより大きく、力強い相手に臆することなく挑む姿はとても感動を
呼びます。その姿を見て、2019年のラグビーワールドカップを思い出される方もいらっ
しゃると思います。ラグビーは1チーム15人で一つのボールを相手のゴールラインまで運
びます。それぞれのポジションにそれぞれの役割があります。足の速い選手や力の強い選手、
キックが上手な選手などプレーする選手それぞれの特徴や強みを組み合わせて一つのチ
ームとして試合に臨みます。また相手の特徴や強みを分析し、分析結果に合ったメンバーを組
み合わせ、戦術を構築していきます。強いチームとは全員が同じ力、同じ特徴をもっている
ことではなく、一人ひとりがそれぞれの強み（個性や資質）を十分に発揮できることだと思
います。

学校という場所も同じように、様々な人と作り上げていく場であると思います。学級でも
児童一人ひとりに良さや強みがあり、学級目標に向けてどのように組み合わせ、協力して過
ごしていくのか考えて取り組んでいきます。また学校経営も同様です。教職員一人ひとりの
良さや特徴、強みを組み合わせ、学校教育目標の実現というゴールに向けて取り組んでい
きます。そのメンバーとして、保護者の皆様や地域の皆様も入っています。それぞれの立場で
の強みを生かしていただければと思います。「洋四フィフティーン」として、洋光台第四小
学校の子どもたちを共に育てていけるよう、2学期もよろしく願いいたします。